

# データという経営資源を

## 最大限に活かす！

### データ活用はなぜ今、必要なのか？

社内に蓄積された販売データ（POSデータ）や顧客データ、新たに取得するデータを活用して、「業務の効率化」「売上増大」を目指し、更にはDXの推進に向けての一步を踏み出しませんか？

参加費 無料

9月14日(木)

14:00~15:30

オンライン開催

ZOOMウェビナーによるライブ配信



### データ活用成功した県内中小企業様のお声

#### ■ ベテラン頼み、勘頼りからの脱却

感覚に頼った発注を行っていたため、在庫を切らしてしまったり、不良在庫が発生したりしていました。また毎回、販売見込みを考えながら発注を行っていたため、発注作業に時間がかかっていました。

POSに溜まっていたデータを分析・可視化することで、店頭在庫を確認するだけで発注が可能になりました。さらに、新人スタッフも発注業務に挑戦することができるようになりました。

(小売店様)

#### ■ 商圈人口減少の中で、売上拡大

少子高齢化による人口減少が続き、客数を拡大していくことが困難な中、自社商圈の顧客の特徴や、自店の優良顧客の特徴を把握する取り組みに着手しました。

より顧客のニーズに沿った品揃えや、店内の動線を整えることにより、前年を超える売上を達成できました。また、特徴や現状が可視化されることで、スタッフのオペレーションの改善にもつながり、商品の補充時間を50%短縮することができました。

(小売店様)

参加費  
無料

## お申込み・お問合せ先

お申込は、右記QRコードまたはURLより承ります。

運営の(株)データミックスよりメールでzoom URLをお知らせします。

【申込期日】 2023年9月12日 午後5時まで

【ご不明点・ご質問・ご相談など】 広島県 商工労働局 イノベーション推進チーム 中小・ベンチャー企業支援グループ

電話：082-513-3355 担当：渡部（わたなべ）



# セミナー概要

2023年 9月 14日

14:00～15:30 オンライン

POINT 経営×データ活用 最新動向を知る

## 第1部 県内中小企業のデータ活用事例



発注業務の精度向上など、データを活用して生産性向上に取り組んだ県内中小企業様の事例をご紹介します。

[登壇予定] 株式会社トーエイ様 他

## 第2部 Excelでできる身近なデータの分析(仮)



身近にあるデータで、どんな分析ができて、どう業務に役立てられるのか? Excelを使ったデモンストラーションでお伝えします。

## 第3部 講演: DX推進のためのデータ活用



インターネットサービス以外でも、身近なデータを活用することで、経営課題の見える化や生産性の向上を行うことが可能です。自社業務でどのようにデータを活用していけばよいのかは事業者様ごとに異なりますが、その考え方について共通する内容をお伝えします。

参加費  
無料

お申込

右記QRコードまたはURLより承ります。

[申込期日]

2023年9月12日 午後5時まで



# 関連講座のご案内

～2024年 3月 31日まで

受講受付中・随時公開

POINT データ活用・分析知識を身につける

動画学習

## データ分析基礎知識 Eラーニング講座



### 内容

動画を視聴しながら自分のペースで学ぶEラーニング(動画学習)形式の講座です。

統計学の基礎からExcel関数の使い方まで、幅広く学んでいただける講座です。ExcelやBIツール※を使った演習にもチャレンジして、データ活用手法に関する基礎知識を習得します。※BIツール: 事業用のデータ収集・分析ツールのこと

各タイトルは複数の動画(各3～15分程度)で構成されているので、空き時間を活用して学習いただけます。

### サポート

質問事項等はチャットシステムで随時受付。講師が回答します。

### 条件・お申込

[環境] インターネットに接続されたPCをご用意ください。

[対象] 広島県内で事業を営む方

[お申込] 右記QRコード またはURLよりお申し込みください。

受講料  
無料



## 希望制: 専門家によるデータ活用に関する指導・アドバイス

データ活用にチャレンジしたい事業者様に、専門家が伴走支援いたします。

支援料  
無料

### ① 事前ヒアリング

専門家がオンライン又は貴社を訪問して、保有データの確認や課題のヒアリングを行います。

### ② 支援開始

オンライン等で専門家によるアドバイスを受けながら、事業者様にデータ活用に取り組んでいただけます。

### ③ 成果発表

専門家による支援を受けた事業者による、成果の共有会を開催します。(令和6年2月頃を予定)

※ 伴走型支援の可否については、プロジェクトの規模や状況、難易度等に基づき判断します。 ※ 多数のお申込みがあった場合、受付を終了する可能性があります。